

7 章 橋台・橋脚工

7.1 橋台・橋脚工

7.1.1 橋台・橋脚工 (1)

7.1.2 橋台・橋脚工 (2)

7章 橋台・橋脚工

7.1 橋台・橋脚工

7.1.1 橋台・橋脚工(1)

1. 適用

橋台・橋脚の本体コンクリート打設に適用する。
 ただし、逆T式橋台は構造物高さ1.2m未満かつ翼壁厚さ0.4m以上0.6m以下とし、T型橋脚は構造物高さ5m以上2.5m未満、壁式橋脚は構造物高さ5m以上2.0m未満について、各打設量区分に適用する。
 なお、構造物高さ及び打設量が適用を外れる構造物については、橋台・橋脚工(2)を適用する。

2. 数量算出項目

橋台・橋脚本体コンクリート（橋台においては翼壁を含む）、化粧型枠、鉄筋の数量を区分毎に算出する。
 また、基礎砕石（敷均し厚20cm以下）、均しコンクリートについては必要の有無を確認する。

- 注) 1. 鉄筋については「第1編（共通編）4.3.1鉄筋工」によるものとする。
 2. 基礎砕石（敷均し厚20cmを超える場合）については、「第1編（共通編）9.1砕石基礎工」によるものとする。
 3. 冬期の施工で雪寒仮囲いが必要な場合については、「第1編（共通編）11.6.2雪寒仮囲い工」によるものとする。
 4. 逆T式橋台において水抜パイプが必要な場合は、別途考慮するものとする。

3. 区分

区分は、規格、形式とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分		必要性の有無	単位	数量	備考
	規格	形式				
橋台・橋脚本体コンクリート	○	○	—	m ³	○	注)2
基礎砕石	敷均し厚20cm以下	×	×	○	—	×
	敷均し厚20cm超え	○	×	—	m ²	○
均しコンクリート	×	×	○	—	×	
化粧型枠	×	×	—	m ²	○	必要量計上
鉄筋	○	×	—	t	○	
足場	×	×	(×)	—	×	注)3
水抜パイプ	×	×	—	—	○	逆T式橋台のみ必要に応じ計上

- 注) 1. 橋台・橋脚本体コンクリートの規格はコンクリート規格とする。
 2. 橋台・橋脚本体コンクリートの形式は、逆T式橋台、T型橋脚、壁式橋脚とし、各形式における打設量区分については、3.(2)を参照のこと。
 3. 雪寒仮囲い等で足場が必要な場合及び特殊な足場を別途計上する必要がある場合は、必要の有無を「×」とし別途算出するなお、一般的な施工をする場合は必要の有無を記載する必要はない。

(2) 形式別打設量区分

1) T型橋脚

構造物高さ区分 打設量区分	5m以上	10m以上	15m以上
	10m未満	15m未満	25m未満
100m ³ 以上300m ³ 未満	○	—	—
300m ³ 以上500m ³ 未満	○	—	
120m ³ 以上220m ³ 未満	—	○	
220m ³ 以上440m ³ 未満		○	
440m ³ 以上650m ³ 未満		○	
290m ³ 以上910m ³ 未満		○	
910m ³ 以上980m ³ 未満		○	

(注) 打設量は、1基当たり全体の打設量とする。

2) 壁式橋脚

構造物高さ区分 打設量区分	5m以上	15m以上
	15m未満	20m未満
100m ³ 以上280m ³ 未満	○	—
280m ³ 以上700m ³ 未満	○	—
250m ³ 以上520m ³ 未満	—	○
520m ³ 以上700m ³ 未満	—	○

(注) 打設量は、1基当たり全体の打設量とする。

3) 逆T式橋台

構造物高さ区分 打設量区分	5m未満	5m以上	7m以上	9m以上	10m以上	11m以上
		7m未満	9m未満	10m未満	11m未満	12m未満
50 m ³ 以上140m ³ 未満	○	—	—	—	—	—
140m ³ 以上260m ³ 未満	○					
50 m ³ 以上90 m ³ 未満	○					
90 m ³ 以上160m ³ 未満	—	○	—	—	—	—
160m ³ 以上310m ³ 未満		○				
70 m ³ 以上110m ³ 未満		○				
110m ³ 以上210m ³ 未満		○				
210m ³ 以上310m ³ 未満		○				
130m ³ 以上280m ³ 未満	—	—	○	—	—	—
280m ³ 以上310m ³ 未満			○			
230m ³ 以上370m ³ 未満			○			
370m ³ 以上650m ³ 未満	—	—	—	○	—	—
230m ³ 以上320m ³ 未満				○		
320m ³ 以上560m ³ 未満				○		
560m ³ 以上650m ³ 未満				○		
				○		

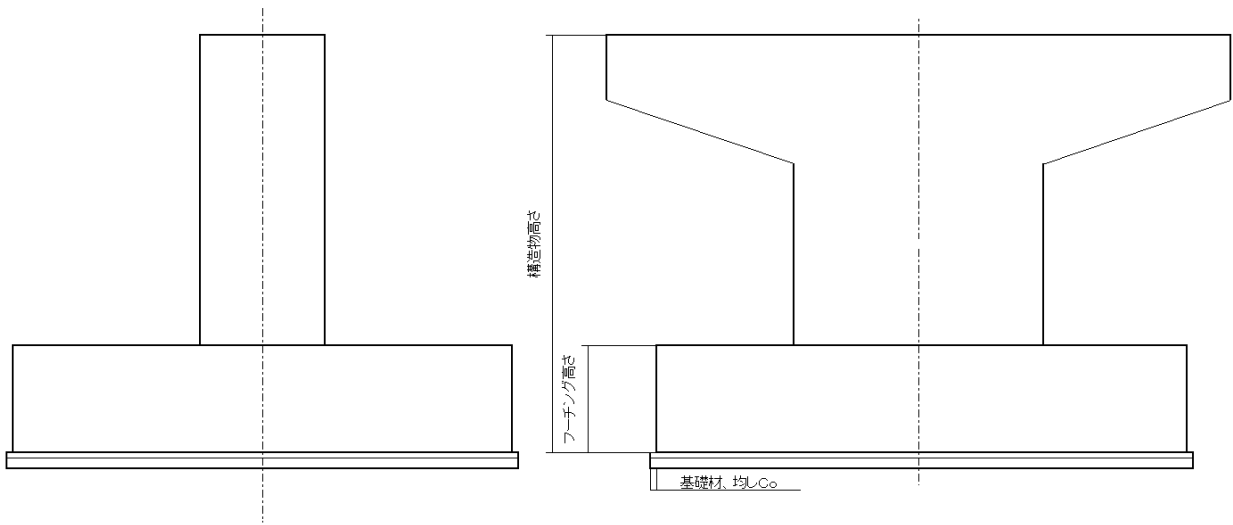
(注) 1. 上表は翼壁厚0.4m以上0.6m以下に適用する。
2. 打設量は、1基当たり全体の打設量とする。

4. 数量算出方法

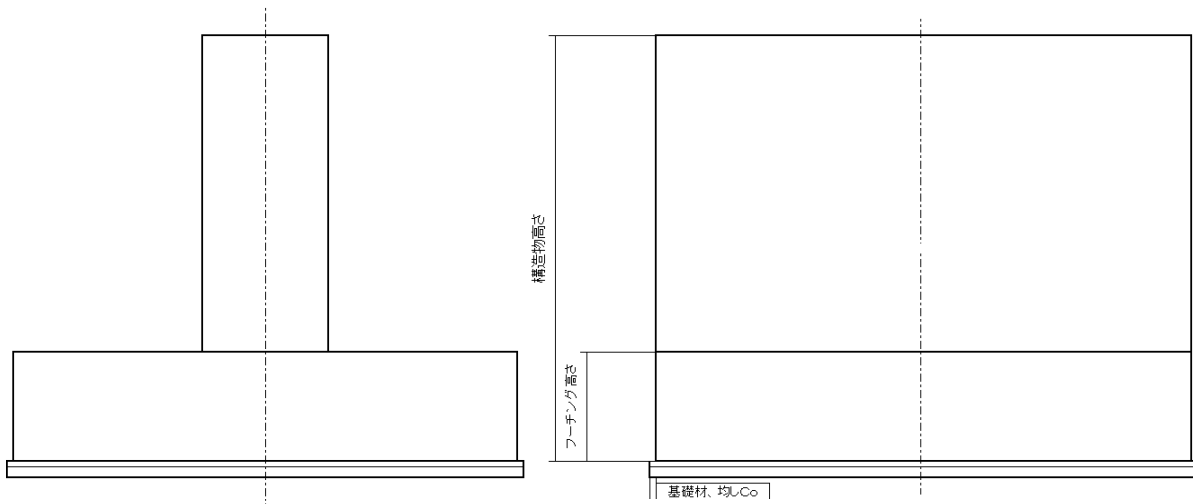
数量算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるものとする。

5. 参考図

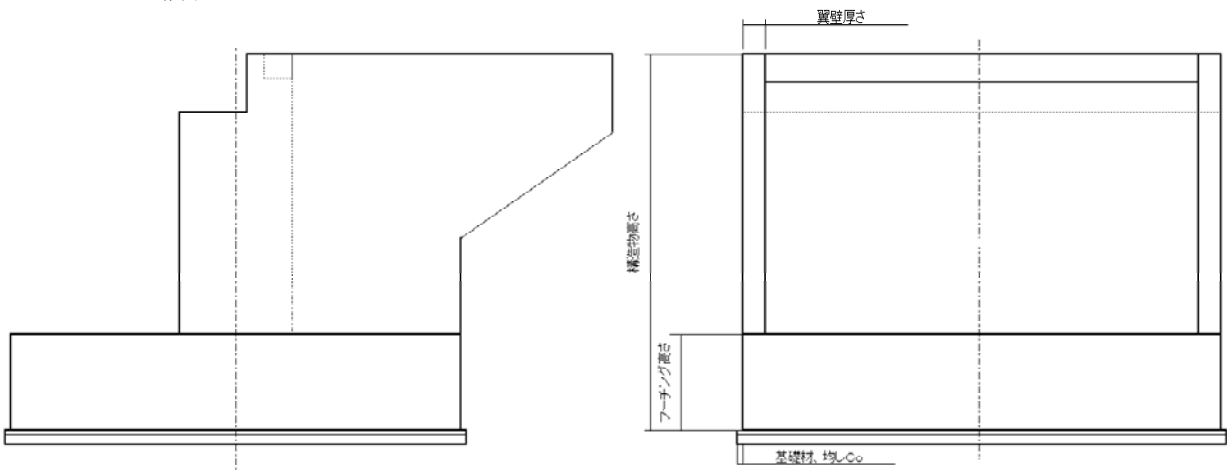
T型橋脚



壁式橋脚



逆T式橋台



7. 1. 2 橋台・橋脚工(2)

1. 適用

橋台・橋脚工（1）を外れた橋台・橋脚に適用する。

2. 数量算出項目

橋台・橋脚本体コンクリート（橋台においては翼壁を含む）、型枠（化粧型枠）、鉄筋、足場、支保等について、数量を区分毎に算出する。

- 注) 1. コンクリート（橋台・橋脚本体コンクリート）については、「7. 1. 1 橋台・橋脚工（1）」によるものとする。
ただし、形式については、特に指定は行わない。
2. 型枠については、「第1編（共通編）4. 2 型枠工」によるものとする。
 3. 鉄筋については、「第1編（共通編）4. 3. 1 鉄筋工」によるものとする。
 4. 足場については、「第1編（共通編）11. 4 足場工」によるものとする。
 5. 支保については、「第1編（共通編）11. 5 支保工」によるものとする。
 6. 基礎砕石については、「第1編（共通編）9. 1 砕石基礎工」によるものとする。
 7. 均しコンクリートについては、「第1編（共通編）4. 1 コンクリート工」によるものとする。
 8. 冬期の施工で、雪寒仮囲いが必要な場合については、「第1編（共通編）11. 6. 2 雪寒仮囲い工」によるものとする。
 9. 逆T式橋台において、水抜パイプが必要な場合は別途考慮する。